

2013年度決算の調査について

2014年8月22日に行われた「自治体学会総会」で、監事より指摘を受けた「決算結果と財産の乖離の原因について」の調査は、1ヶ月を目途に事務局において検証を進める約束をしておりました。事務局の検証作業については、10月5日に開催された役員会にその状況について報告しました。10月5日付けの調査報告では、繰越額に比べ通帳残高が46,958円上回っている状況でした。役員会としては、事務局だけではなく、知識経験を有する第三者の学会員の意見も参考に、引き続き調査を進める旨の方針を決定しました。つきまして、第三者にも並行して再検証作業をお願いするとともに、事務局においても、もうしばらく再検証調査を進めることといたしました。事務局としまして、再検証作業の結果がまとまりましたら、役員会にご報告し、できるだけ早期に皆様にご報告したいと存じます。

以上、現時点での調査状況につき、ご報告申し上げます。

2014年10月22日

自治体学会事務局 杉渕